

要領様式第2号

出張報告届

令和6年 4 月 23 日

吹田市議会議長様

会派名 立憲民主党

代表者氏名 西岡 友和

出張者氏名 西岡 友和

.....
.....
.....
.....
.....

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	徳島県～香川県
期間	令和6年4月22日から 令和6年4月23日まで 2日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	



2024 年 4 月 23 日

西岡 友和

神山まると高専は、徳島県神山町に位置する私立の高等専門学校であり、テクノロジー×デザイン×起業家精神を教育の基盤として設立された。今回、Jissen の研修として現地へと伺い、設立の意思や目的など、先進的な取り組みについて視察を行った。

神山まると高専は、Sansan 株式会社の代表取締役社長である寺田親弘氏を中心に設立された。設立準備委員会が2019年に結成されて、現在に至る。まだ卒業生を輩出していない状況にも関わらず、大きな反響を生んでいる。そのロケーションも徳島県の山間部である神山町であり、過疎による人口減少に悩まされている自治体といえる。日本のシリコンバレーをこの地に作りたいとの思い、そのギャップが興味深い。

神山まると高専は、5 年制の高等専門学校で、2023 年 4 月に開校された。学校のキャンパスは、徳島県の神山町にあり、学生たちは全寮制のもと、地域と一体となって学び、社会を変える人材を育成している。教育方針として、テクノロジーとデザインを融合させ、学生たちに創造的な力を養うことを重視している。起業家精神を育て、社会的な課題に挑戦する人材を育成することを掲げ、通常の高専によくある、地域に根差した地場産業を支えるというような目的は全くない。

カリキュラムは、実践的なプロジェクトや起業家教育を中心に構成されており、特に起業家を育成することに重きを置いている。

学生寮は、神山中学校の旧校舎を改装して作られており、学生たちが共同生活を送りながら「モノをつくる力で、コトを起こす人」を育成することを目指し、学生たちが自らの力で未来を切り拓く準備をしている。

国内の高専としては 19 年ぶりの新設校であり、神山まると高専は、日本国内で 19 年ぶりに新たに設立された高等専門学校となる。このため、設立に際しては多くの調整や手続きが必要であった。特に、寄付金の調達と奨学金基金の創設について、設立資金として企業からの寄付金などで約 24 億円を確保している。さらに奨学金制度を活用して、学費無償化を実現するために、総額 100 億円規模の基金を創設することに成功した。海のものとわからない高専にこれだけの資金を集めた事は、驚きのほかにはない。

また、神山まると高専の校歌「KAMIYAMA」は、UA が作詞を、坂本龍一が作曲を手掛けた。坂本龍一氏は、2023 年 3 月に亡くなり、この校歌は彼の生涯最後の作曲作品となった。入試の倍率は毎年 10 倍を超える競争率であり、注目を集め続けている神山高専。理念にある通り、卒業生の 4 割が卒業と同時に起業する事が可能となるのか、神山が日本のシリコンバレーとして、新しい起業家を輩出してゆくのか、注目していきたい。

二日目は高松市役所に移動して、高松市が取り組む行政改革についてディスカッション

を行った。高松市は、行政改革に積極的に取り組んでおり、市民サービスの向上や効率化に取り組んでいる。地域行政組織再編計画として、持続的な発展を目指し、コンパクトで持続可能な都市づくりを推進している。地域行政組織においても、市民により近いところで幅広い行政サービスを提供できるよう、現行の「本庁－支所・出張所」の二層構造組織を再編し、「本庁－総合センター－地区センター（支所・出張所）」の三層構造への移行に取り組んでいる。

行財政改革として、行政の効率化や財政健全化を図るために、行財政改革計画を策定している。第9次から第7次までの改革計画では、市の行政組織や予算の見直し、事業評価、組織機構の見直しなどが実施されている。また、高松市では、職員からの提案を積極的に受け入れる体制づくりに取り組んでいる。職員提案は、市の運営やサービス向上に寄与していることから、県庁所在地としての大きな視野と、丁寧な市民サービスの提供の両立を図るよう、工夫を凝らしている。

吹田市においても、高松市とは人口規模が同等であり、参考になる事例も多くあった。本市は人口減少とは縁遠い環境にあるが、高齢化が進む状況は同じと言える。中核市として本格的な街づくりも進む現状において、他市との比較を含めて調査、研究を進めていきたい。

以上